

マレーシア・アセアン家禽病研究訓練計画
評価調査報告書

平成5年5月

国際協力事業団

農開査

J R

93-29

マレーシア・アセアン家禽病研究訓練計画

評価調査報告書

平成5年5月

国際協力事業団



マイクロ
フィルム作成

序 文

マレーシア・アセアン家禽病研究訓練計画は、1986年4月17日に署名された討議議事録（R/D）に基づき、経済的に重要な家禽病に関する研究水準の向上を図り、更に研修を通じて、他のアセアン諸国に対し、その研究成果、開発された技術の普及を行い、もってアセアン諸国の家禽病

研究に係る人材開発に貢献することを目的とし、日本の無償資金協力によって建設されたアセアン家禽病訓練センターにおいて1986年4月17日より5年間の予定で行われました。

プロジェクト終了に際して評価調査団が派遣され、マレーシア側との合同評価の結果、当初の目標達成のため2年間の協力期間の延長が提言され、1993年4月16日まで協力期間を延長することが決定されました。

今回、プロジェクトの終了を約2カ月後に控え、1993年2月3日から2月17日までの15日間、農林水産省家畜衛生試験場総合診断研究部病原診断研究室長湯浅襄氏を団長とする評価調査団を派遣しました。

本調査団は、マレーシア側評価チームと合同で、延長期間における活動実績、目標達成度等について総合的な評価を行うとともに、協力期間終了後の対応策等について協議・検討を行いました。

調査結果は日本・マレーシア双方の評価チームによる討議を経て、合同評価報告としてとりまとめられ、署名のうえ両国政府関係機関に提出されました。

本報告書はこの合同評価報告書をもとに日本側調査団としての調査及び協議の結果をとりまとめたものであり、今後広く関係者に活用され、本プロジェクト並びに関連する国際協力の推進に寄与することを願うものであります。

最後に、本調査の実施に当たりご協力を頂いたマレーシア政府関係機関及び我が国関係各位に対して、厚く御礼申し上げるとともに、本プロジェクトに対するなお一層のご支援をお願いする次第です。

平成5年5月



国際協力事業団
理事 田口俊郎

